

平成30年度「学校評価結果報告書」

学校法人 仏光学園
認定こども園ぶっこう幼稚園

当園ではこの度、平成30年度の学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自園や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、さらなる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

教育目標

詰め込まれた知識ではなく、豊かな環境の中で自ら経験することで得られた知識と、一人ひとりが大切な存在だと感じる心を育み、智慧と慈悲を備えた子どもを育成する。

今年度の重点目標

教育活動の見直し・充実
音楽活動の充実
教職員の意識改革と資質向上
乳児クラスと幼児クラスの連携
「食育」の充実
専門家との連携
ICT化の活用

評価項目と取組み状況

| 評価項目 | | 取組み内容 | 取組み状況 |
|------|-------------|---|--|
| 1 | 教育活動の見直し・充実 | 今年度から、年度前半は、子どもに負担を強いる形骸化した行事を取りやめて、遊びを通した保育者と子ども、また子ども同士の関わりを大切にす。そして、後半の運動会・制作展・音楽会などの各行事に集中して取り組めるよう教育活動を見直す。 | A ・前半に子供たちに負担となる行事を減らしたことにより、日々の教育・保育に追われることなく、無理なく1年を通して活動することができた。 ・運動会・制作展・音楽会に集中して取り組むことができた。 ・行事には、集いがあり、伝統や風習を知ることができた。 ・今年度の結果を踏まえて、来年度以降年間を通したカリキュラムを再度見直して改善を図っていく。 |
| 2 | 音楽活動の充実 | 専門の講師による音楽活動を充実させ、「音感」教育を充実させる。今年度は、普段から子どもに馴染みのある食べ物の名前を使ったリズム打ちとそれを使った歌を毎週のレッスンに取り入れる。また、音楽会でもその考案したリズム打ちを使用して編曲することによって、無理なく行事の練習に移行できるようにする。0歳から音楽に触れあうことによりことばを理解し、聴く力を養う。 | A ・専門の講師による音楽活動を実施している。 ・年長組については、ほぼ毎日和太鼓やマーチング・合奏の練習をしていたため、音楽活動はとても充実していた。 ・0・1歳児は、しっかりとした音感を身につけるため、ピアノではなく教職員のうたで伝えるようにした。 ・乳児クラスについては、年齢にあったカリキュラムを保育に取り入れていく。 |

平成30年度「学校評価結果報告書」

学校法人 仏光学園
認定こども園ぶっこう幼稚園

| | | | | |
|---|----------------|---|---|--|
| 3 | 教職員の意識改革と資質向上 | 園として、質の高い保育を提供できるよう、園内・外研修等を受講して、教職員の資質向上に努める。 また、そこで得られた知識を教職員間で共有し、日々の保育に活かしていく。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、園内外で研修を受講し、その結果についても研修報告書や職員会議で振り返り教職員の資質向上に努めた。 ・今後についても、様々な分野の研修を受講し、園・教職員ともにスキルアップを図っていく。また、それを日々の教育・保育に生かしていく。 |
| 4 | 乳児クラスと幼児クラスの連携 | 定期的に、遊ぶ時間や場所を一緒にして、全年齢を通した異年齢の子ども達と一緒に遊び、かかわることができる「たてわり保育」を実施する。また、他学年の子ども達と一緒に食事をしたり、公園に遊びに行くなどの機会を設け、乳児クラスと幼児クラスの活動を充実させる。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳の合同保育の実施（朝夕の合同保育・バス散歩・園庭あそび・にこにこのつどい・本堂お参りなど）。 ・うさぎ組（2歳児クラス）と幼児教室の合同行事の参加。 ・0～5歳までの全年齢を通したかかわりについて、今後検討していく。 |
| 5 | 「食育」の充実 | 日々の給食や給食室のお手伝い、クッキングなどを通して食べることへの楽しみを高める。 季節に応じた菜園活動を行う。苗植えや水やり・収穫を通して、食への関心や興味を深め、食物を育てることや調理する楽しみ・大変さを知り、また感謝する気持ちを育てる「食育」に取り組む。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培や水やり、収穫を実施した。 ・子どもたちが、自分で収穫をしたものを持ち帰り、食に対して興味を持つことができた。 ・食育指導・給食のおてつだい ・年間行事として、栽培～収穫～クッキングを今後取り入れて、さらなる「食育」に取り組む。 |
| 6 | 専門機関との連携 | 定期的に身体測定と健康診断（内科・歯科・眼科・耳鼻科）を実施し、子どもの健康管理に努める。また、異常が見つかった場合は、専門機関と連携して早期改善をはかる。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・看護師が常駐しているため、怪我や病気が発生した場合でも迅速に対応することができている。 ・毎月、看護師によるほけんだよりを配布している。 ・内科・歯科・眼科・耳鼻科検診を実施し、子ども達の健康を把握した。 |
| 7 | 保護者との連携 | ブログや毎月の保育通信を活用して、保護者の方に日々の子どもの様子を把握してもらえようとする。 制作展や音楽会などでは、プログラムだけではなく、それに合わせて見どころなども書き、保育の意図を保護者の方にも伝えていく。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、園だより・ほけんだよりを配布して、保護者の方に園の取り組みや子どもたちの様子について情報発信している。また、0～2歳については、毎日の連絡帳で保護者の方と連携を深めている。 ・普段の様子をスナップ写真や壁新聞として貼りだし、保護者の方と子どもたちが楽しそうに見ている様子が見られた。 ・週に1回のブログ更新。 |
| 8 | ICT化の活用 | 人型ロボットPepperくんを導入して、ロボットと一緒に遊びながら未来を体験できる環境をつくる。また、Pepperくんを音楽や英語を学んだり教育にも活用していく。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・導入当初よりは、一緒に遊んだりする子が増えた。 ・最初は怯えていた子どもたちも、冬頃には「Pepperくん音頭」や「おどるポンポコリン」を踊るほど楽しんでいた。 ・自由時間に遊んだりしているので、教育として各年齢に応じた取り組みを今後取り入れていく。 |

平成30年度「学校評価結果報告書」

学校法人 仏光学園
認定こども園ぶっこう幼稚園

【評価の基準】

| | |
|---|--------------------|
| S | 十分達成されている |
| A | 達成されている |
| B | 取組まれているが、成果が十分ではない |
| C | 取り組みが不十分である |

・学校関係者の評価

教職員の先生方には熱心に保育して頂き大変感謝しております。
園行事、特に音楽会は、とてもレベルが高く、毎年素晴らしく感じています。
課外教室や教育の層についても他園より厚いと実感します。
また、英語や音楽活動・体育活動と専門の講師の方に保育時間内で指導を受けられることはとてもありがたいです。
行事についてはとても充実しているのですが、母の日参観や父の日参観、また親同士が交流を持てるようなイベント等も
企画して頂ければと思います。
異年齢との関わりの「たてわり保育」やクッキングについても、今後ぜひ取り入れていってほしいと思います。
今後ともよろしく願います。

以上